

学習内容報告書 フォーマット

学校名	姫路市立家島小学校
授業者	家島小学校全職員

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

家島うみの時間

1-2. 学年

1～6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 生活科

1-4. 単元の概要

本校は、播磨灘に浮かぶ家島群島のうち主要島である家島と採石業の作業場が多く所在する男鹿島を校区にしている。家島の人々は、海運業・漁業・採石業等、過去千百年以上も海での仕事を受け継いできている。児童は、地域の行事に積極的に参加するなど、自分たちの住んでいる「家島」が好きである。しかし、校区内に魚釣りや磯遊び、海水浴ができる恵まれた環境にあるにも関わらず、体験が少なかったり、生まれたときから海や魚を目にしたりしているため、海の生物や環境のありがたさをあまり享受できていない。体験活動や調べ学習を通して、ふるさとの「海」に対する愛着を深め、ふるさと家島を誇りに思い、ふるさと家島の未来に関心を持ち続け、行動できる児童を育成する。

そのため、今年度は「家島の海を語る」1年として、家島のうみに関わることを個々の興味に基づいて、多方面から調べることにした。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、播磨灘に浮かぶ家島群島のうち主要島である家島と採石業の作業場が多く所在する男鹿島を校区にしている。家島の人々は、海運業・漁業・採石業等、過去千百年以上も海での仕事を受け継いできている。児童は、地域の行事に積極的に参加するなど、自分たちの住んでいる「家島」が好きである。しかし、校区内に魚釣りや磯遊び、海水浴ができる恵まれた環境にあるにも関わらず、体験が少なかったり、生まれたときから海や魚を目にしたりしているため、海の生物や環境のありがたさをあまり享受できていない。体験活動や調べ学習を通して、ふるさとの「海」に対する愛着を深め、ふるさと家島を誇りに思い、ふるさと家島の未来に関心を持ち続け、行動できる児童を育成する。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと家島を誇りに思い、大切にしていこうとする子 ・自分達が住んでいるふるさと家島に対する愛着を深め、ふるさと家島のために何ができるかを考え、行動しようとする子 ・地域の産業の現状と課題を知り、その解決に向けて考える子 ・生涯に渡り海とつながり、ライフワークを楽しもうとする子

1-7. 単元の展開（全55時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p><u>調べるテーマを決めよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家島の海に関する言葉を出し合い、分類する ・自分の興味をもとに、グループを作る 	<p>家島から連想する言葉を列挙することで、多様な考えや自分の興味・関心に気づかせる。そして、興味関心に合わせてグループを作る。その際、異学年でグループ活動ができるように調整する。</p>
36	<p><u>調べる計画を立て、グループごとに調べよう</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループで協力して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、インターネットで調べる ・関係機関にインタビューする ・模型を作って実験する ・海の生き物の観察をする ・アンケートをとる 等 </div>	<p>4月から10月までは、4・5・6年生で活動を行った。10月以降は中間交流会を経て3年生も合流して活動するという形をとった。地域の方々へのインタビューや地域の工場を見学するなど、家島にしっかりと軸足を乗せた調べ学習を行った。</p> <p>○各グループの活動</p> <p>【家島産業振興課】 家島の採石業について、歴史や方法、出荷先等について家島石材組合の方にインタビューを行った。テーマに沿って調べ学習を行い、異学年で協力して活動する姿が随所に見られた。 家島石材組合／中村水産／水田鮮魚店</p> <p>【われら海底保安庁】 船の安全に関わる取組について、ガット船と漁船を中心に探究した。海上保安庁見学の際には、様々な疑問について積極的に質問し、海の安全を守るための取組について知ることができた。 家島事務所土木課／姫路海上保安部／導海運</p> <p>【家島！未来の地産地消守り隊】 未来に残したい家島の地産地消給食メニューを考案し、レシピを紹介する。 家島給食センター／家島ふれあいプラザ</p> <p>【家島海洋研究所】 家島の海に生息する生き物の調査を通して、家島の</p>

		環境の今とこれからを考察する 家島漁業協同組合
3	<u>海で命を守りながら、海で楽しもう</u> 海辺の安全指導 海洋アクティビティ体験	海で遊ぶ時期を前に、海に潜む危険から身を守るためにできることを実践させた。ライフジャケットの着用や海で遭難したときに浮きの代わりになるものなどを知り、海の事故防止に対する意識を持たせた。 B&G海洋センター
3	<u>海の恵みに感謝しよう</u> 魚つかみどり体験 魚試食 漁師さんの仕事 VTR 視聴	漁師の仕事を紹介する VTR を視聴させることで、定置網漁について理解を深めさせるとともに、魚を獲る仕事の大変さを感じさせた。次に、定置網漁で撮られた魚のつかみどり体験をさせることで、魚の種類の多さや生きのいい魚の姿を実感させた。最後に、自分たちがつかみ取りした魚を調理して試食することで、新鮮な魚のおいしさや命をいただくということについて考えさせることができた。 家島漁業協同組合 中村水産
4	<u>中間交流会をしよう</u> ・これまでの調べたことを紹介する ・グループ同士で意見交流をすること	グループごとに調べたことをスライドにまとめさせた。中間交流会では、各グループの進捗の報告や意見交流を行った。やした。それと同時に、本交流会は3年生に対してグループを紹介し、3年生がどのグループに入って調べ学習をするのかを選ぶという会でもあった。
5	<u>調べた成果を発表しよう</u>	各グループで調べたことをまとめ、ワークショップ形式することを計画した。しかし、感染症の感染が拡大したため、発表のようすをビデオ撮り、公開するという形への変更を余儀なくされた。子どもたちは、スライドにまとめるだけでなく、自分たちが作った干物や地産地消レシピ集など成果物も用いて発表を行った。発表後には、感想や質問の交流を行い、対話の場面も設けることができた。
2	<u>他の小学校に家島の魅力を伝えよう</u>	地域の PR を行う他地域の学校と交流することで、自分たちの地域のよさを知ることができると考え、他の地域の小学校と交流会を実施した。外から見た家島の魅力に気付くことができたり、新たな調べる視点を見つけたり収穫の多い交流会となった。 ・山口県 美祢市立麦川小学校5、6年生児童
3	<u>一年間の成果を振り返ろう</u>	個人で振り返りを行った後に、グループで感想を振り返った。子どもたちは、一年間の成果を感じるとともに、来年度の活動に意欲をもつことができた。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

家島で採石業が盛んな理由について調べ、採石業の未来について考え、自分たちの思いを伝える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 課題の設定</p> <p>○家島の採石業が盛んになった理由について考える</p> <ul style="list-style-type: none">・いつから盛んになったのか →かなり前から／100年ほど前？・どこで使われるのか →道路工事で使われる・どんな石材がとれるのか →加工しやすい石・どんな仕事をしているのか →道具を使って石をくだく・どれくらいの人が働いているのか →100人くらい・環境破壊につながるのではないか →自然を守る工夫もしている	<ul style="list-style-type: none">・身近な人の中で採石業や石材の運搬業に従事している人を挙げ、家島の産業に占める採石業の割合の大きさを実感させる。・家島で採石業に関する疑問を挙げさせて、探究テーマを明確にする。・家島の採石業が社会の中で果たす役割や、従事する人の工夫や努力、思いにも着目して探究を進めるよう助言する。
<p>2. 情報の収集</p> <p>○石材会館の方にインタビューする</p> <ul style="list-style-type: none">・いつから盛んになったのか →500年以上前から 大阪城の石垣に使われたという話も・どこで使われるのか →日本全国に出荷 関西国際空港の埋め立てにも活用 震災復興を後押し・どんな石材がとれるのか	<ul style="list-style-type: none">・5, 6年生の児童には、5年生の社会科で「工業生産とわたしたちの暮らし」の学習で、産業活動における環境への配慮について学んだことを想起させ、採石業でも同様の工夫や努力があるのではないかと考えさせ、質問内容を具体的に考えさせる。・国語で学習したインタビューの仕方を振り返らせることで、目的に合わせてインタビューができるようにする。

<p>→西島が安山岩、男鹿島が花崗岩 サイズを分けて出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんな仕事をしているのか →ドリルで穴あけ、爆破、加工 昔は手掘り 今はショベルカー、クローラードリル、トラック 今も昔も命がけ • どれくらいの人が働いているのか →10社で100人くらい（家島での関係者） • 環境破壊につながるのではないか →採石跡地を緑化、ソーラーパネルを設置 <p>3. 整理・分析</p> <p>○家島で採石業が盛んな理由について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> • 良質の石材がとれる • 海に囲まれ、船で大量に輸送しやすい • 家島の入り江が船の停泊に適している • 大消費地の阪神地方に近い <p>4. まとめ・表現</p> <p>○採石業の未来について考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 家島の産業が発展してほしい • 作業の効率が上がり、安全な産業になってほしい • 資源を大切にできるような産業になってほしい • 働く方の思いや苦勞をもっと知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> • 石材会館の方にインタビューして分かったことをドキュメントにまとめ、共有させる。 • 事前に予想していた内容と比較させ、家島の採石業が想像以上の歴史と規模をもつ産業であることを実感させる。 <ul style="list-style-type: none"> • インタビューで得られた情報を整理させ、家島で採石業が盛んになった理由について考察させる。 • 採石業と家島の産業の未来について考え、意見を交流させる。 <ul style="list-style-type: none"> • インタビューで分かった事や考察した内容をスライドにまとめさせる。 • 採石業に従事する方の思いや工夫、苦勞、採石業が家島だけでなく社会全体を支えていることを伝えるとともに、故郷の産業に対する思いを自分の言葉で語るよう助言する。
---	--

3. 今回の活動の自己評価

海洋教育プログラム「家島うみの時間」は、初年度を「家島のうみを知る1年」、2年目を「家島のうみを探る1年」、最終年を「家島のうみを語る1年」と位置付けてきた。最終年を迎えた今年度は、今までの学びをもとに、家島の未来に対する自分の考えや思いを語り、様々な人に伝えることを目標とした。現在の家島を支える自然や産業、食文化、安全について、人の関わりや思いに着目させ、インタビュー等をもとに探究を続けた。児童は3年間の取組を通して、当たり前を見つめなおし、多くの気づきにつなげることができるようになってきた。自分たちで見つけた故郷の魅力について語り合う姿は、嬉々として活力にあふれている。その気づきや考え、思いを語る対象を少しずつ広げることが、他人事を自分事へ、そしてみんな事へと変化させていくと考えている。今年度は、昨年度までは実施できなかった保護者や地域の方を対象とした総合的な学習の発表会を実施することができた。児童の成長を見守った保護者からは、「家島うみの時間」の継続を望む声が届いている。また、姫路市立伊勢小学校や山口県美祢市立麦川小学校とのリモート学習交流会を実施することができた。

3年に渡って取り組んできた「家島の時間」は、故郷の未来に対して積極的に関わろうとする児童の育成につながる取り組みであると確信している。

4. 今後の課題

3年に渡る取組を終えた率直な感想は、この取組がまだ緒に就いたばかりの段階だということである。学びの自分事化、みんな事化は、まだ身近さに依存した段階である。学びを広げ、深めるために必要なのは、幅広い視点で物事を見て考えること、そして様々な立場の人からの反応を得ることであると考える。学びの軸足を家島のうみに置きながら、時間、空間、そして人との関わりをどのように広げていくのかが次年度以降の課題である。

本校では、来年度を「家島うみの時間」第二期のスタートと位置づけ、視野とつながりを広げた取組の推進を目指していこうと考えている。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。